

抗菌・抗ウイルス性能に高断熱・飛散防止性能をプラス バリエーションに加え採用用途も拡大

細菌やウイルスの繁殖は、放置したままでは減少させることはできない——
そんな常識を打ち破るガラス「ウイルススクリーン」。太陽光以外にも、蛍光灯
やLED照明の室内光で、細菌やウイルスの活性を抑えるガラスだ。この夏、
「ウイルススクリーン」に『複層ガラスタイプ』、『合わせガラスタイプ』を新発売。
抗菌・抗ウイルスという基本性能以外に採用用途が広がった製品の魅力を探る。

さまざまなウイルスなどによる感染症
が流行している昨今、病院や公共施
設などの人が集まる場所では、より衛
生的な環境が求められている。建築用
ガラスの分野においても、このニーズ
に応じた製品がある。それが日本板硝
子の「ウイルススクリーン」だ。

ガラスにコーティングされた光触媒
膜と銅系化合物が可視光と反応して、
ガラス面に付着した細菌やウイルスの
活性を99%以上低減する抗菌・抗ウ
イルス効果を有している(下右図)。太
陽光以外にも室内の蛍光灯やLED照
明でその性能を十分に発揮できるこ
とが、この製品の特長だ。

複層ガラスタイプや 合わせガラスの登場で広がる用途

2012年の12月に発売した「ウイル
スクリーン」に、今年の夏、『複層ガ
ラスタイプ』と『合わせガラスタイプ』が加
わった。どのような用途を想定してい
るのか、日本板硝子の平井利衛氏に
伺った。

「例えば院内感染の予防に大切なのは
総合的な対策です。ガラスを選定する
場合、ウイルススクリーンのバリエーシ
ョンの中から、病室の窓には断熱・結露
防止・省エネ効果のある『複層ガラス
タイプ』を、また、新生児室の間仕切り
には飛散防止効果のある『合わせガ



日本板硝子株式会社 建築ガラス事業部門
営業部 営業企画グループ 主席

平井 利衛氏

ラスタイプ』を採用するなど、用途に見
合った最適な製品の選択が可能となり
ます。合わせガラスタイプはその特長
により、安全性を重視する学校や保育
施設からの問い合わせも増えています」
デザイン性の追求によって建築物に
おけるガラスの採用は大きく広がって
きた。バリエーションが広がった「ウ
イルスクリーン」は、衛生面に配慮する
病院や介護施設をはじめ、公共施設、
食品・医薬品工場などからのニーズが
高まるに違いない。

日本最大級の病院・福祉設備機器
展示会「HOSPEX JAPAN」。日本板
硝子はウイルススクリーンと普通のガラ
スの性能の違いを、実験映像を通して
質の高いアメニティ空間をPRする。

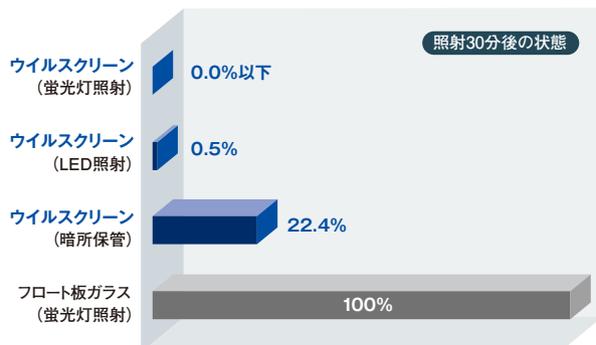
●HOSPEX Japan 2013

会場 東京ビッグサイト
期日 2013年10月23日(水)～25日(金)
時間 10:00～17:00

● 複層ガラスタイプ構造図



● ウイルスクリーンのウイルス残量データ(当社試験結果)



試験では、「ウイルススクリーン」に蛍光灯/LEDを照射することにより、30分で活性ウ
イルス濃度が減少し、優れた抗ウイルス性を発揮することが確認された

※実際の評価では、バクテリオファージQφを使用
照射条件/蛍光灯・LED照明:1000lx、暗所保管:室内にて保管ケース内

お問い合わせ

日本板硝子株式会社

〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-4 住友不動産東新橋ビル6号館 ☎0120-498-023 (9:00～12:00、13:00～17:30〈定休日:土・日・祝日〉)

<http://glass-wonderland.jp/>